

# 富

五年

画数 12

フ 言 富 富  
フ・フウ  
とみ・とむ

成り立ち



りっぱな酒を入れる容器の形を表した「富」と、家の形を表した「宀」とを組み合わせて作った字です。

「富」のようなりっぱな道具のある家」という意味の字で、「財産の豊かな家」のことに表した字です。

「富（とみ）」という意味（例）巨富、国富、富力）や、「富む」という意味（例）豊富、貧富、富裕、「富ます」という意味（例）富国）に使われます。

使い方

▽日本は雨が豊富です。とくに六月から七月にかけての梅雨時には、大量の雨が降ります。この豊富な雨のおかげで、日本の五穀は良く実るのです。

▽日本は貧富の差が割合と少ない国です。国民の大多数が、自分の中産階級に属していると考えています。貧富の差が少ないということは良いことです。貧しい人が少ないということになるからです。

熟語例

▽巨富（巨万の富。非常に大きな財産のことです。「二代にして巨富を築いた成功者」などというふうには、つかいません。）

▽国富（国の富。国の財産）

▽富力（富の力。「わが国も富力をたくわえなければいけない」などというふうには、つかいません。）

▽豊富（たくさんあること。豊かで富んでいること。）

▽貧富（貧しいこと、富んでいること。）

▽富裕（富んでいて、生活に余裕があること。）

▽富国（国を富ませること。「明治時代は、富国強兵を目的とした時代だった」などというふうには、つかいません。）

# 武

五年

画数 8

ニ 十 十 正 武 武  
ブ・ム

成り立ち



「戈（やりの類）」の形を表し、「戦」の意味を表した「戈」と、「止める」という意味の「止」とを組み合わせて作った字です。

「戦を止める」という意味の字です。戦をしても、相手が自分より強いと分かれば、戦を続ける気持ちは無くなります。戦を止めさせるものは、「強力な武器」であり「強大な武力」である、ということと、「武器」や「武力」の意味を表したものです。

武器や武力は、戦をするためのものではなくて、戦を防止するためのものであることが、「武」という字の成り立ちから知ることができます。

使い方

▽核兵器という有力な武器が使われれば世界がほろびてしまうために、どの国も世界戦争を避けているのです。

▽昔の武士は、文武両道にすぐれることが理想でした。

今の言葉でいいおせば、気はやさしくて力持ち、というところでしょうか。

熟語例

▽武器（戦争に使う道具）

▽武力（戦争を行う力。兵力。「武力を高めておかないと、相手から攻撃されるおそれがある」などというふうには、つかいません。）

▽武士（さむらい。昔、武力でもって主君につかえた階級の人）

▽文武（学問と武芸）

▽武芸（戦いに関する技芸。剣術や弓術や馬術などを言います。）